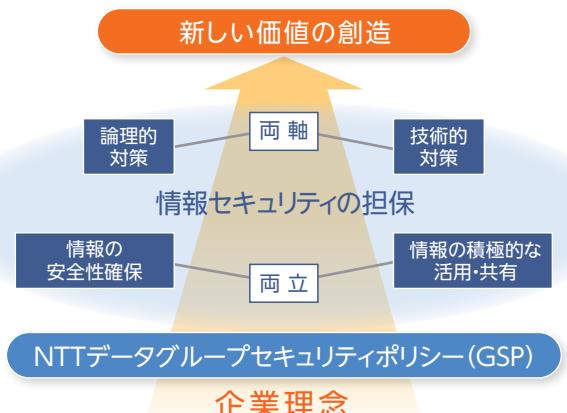


# 情報セキュリティ方針

NTTデータグループは、「情報の安全性確保」と「情報の積極的な活用・共有」を適正なバランスで両立させ、グループ全体で安全なナレッジ流通を促進し、お客様に新たな「価値」を提供します。

「情報の安全性確保」と「情報の積極的な活用・共有」の両立には、2つの軸が必要です。1つはルールの策定や情報セキュリティ教育・啓発活動などの「論理的対策」です。もう1つは、情報漏えい対策ソリューションやシンクライアントPCの導入といった「技術的対策」です。



## 情報セキュリティポリシーの策定

セキュリティ侵害による情報漏えいや情報の不正利用は、深刻な信用問題につながります。NTTデータでは1998年12月から、情報資産を適切に取り扱い、情報セキュリティを確保する「情報セキュリティポリシー」を制定しています。

また、個人情報保護の重要性を認識し「個人情報保護方針」を2001年7月に制定。社内規程でも個人情報を適切に取り扱うための遵守事項を定めています。これらは、情報技術の進歩や社会の変化に応じて、見直しや改善を実施しています。

## 委託業務における方針

NTTデータでは、ソフトウェア開発業務をはじめ、業務を委託したパートナー企業での情報セキュリティ事故を未然に防ぐルール等を定めています。

機密情報や個人情報を取り扱う業務を委託する場合は、誓約書の受領やセキュリティ対策実施状況などの確認を行います。

### 体制・対策状況の確認

取引先を選定する際は、定めた基準に従い、ヒアリング等により取引先のセキュリティ対策状況を確認する。

### ルールの提示・対策レベルの合意

セキュリティ管理や個人情報保護に関するルールを提示。パートナー企業に求める対策レベルについて合意を得る。

## 情報セキュリティ・個人情報保護活動体制

